

# Vegeta 新聞

次回社内会議

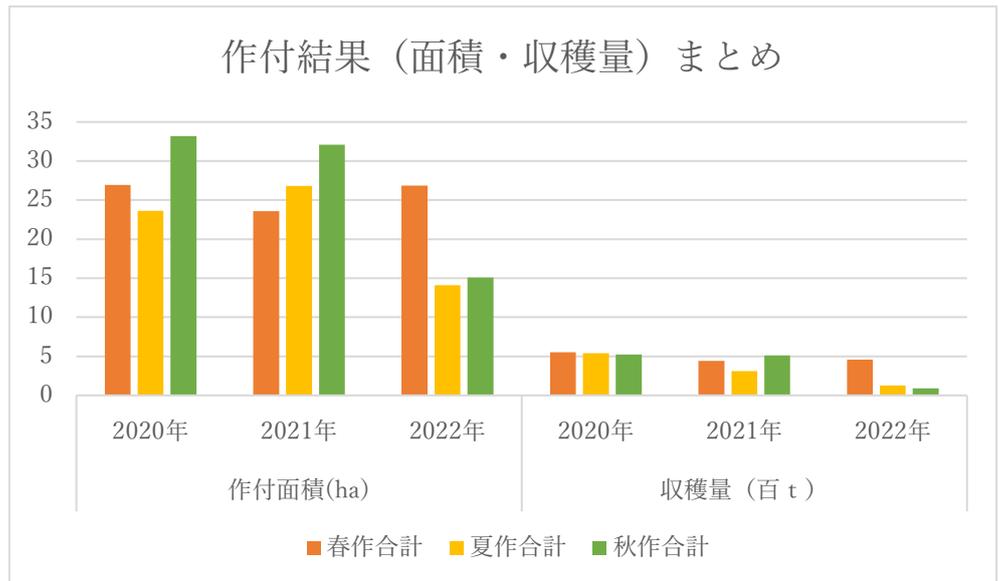
(&amp;vegeta 新聞)は 1/20 (金)

## 今年(2022)のキャベツの感想は！？

2022 年の現在までのキャベツの年間栽培面積は、56ha（うち春作 26ha、夏作 15ha、秋作 11/20 までで 14ha）。収穫量は 679t（うち春作 458t、夏作 129t、秋作現在までで約 90t）でした。

右のグラフは、作付時期ごとの栽培面積と収穫量（過去 3 年間比較）です。

2022 年の秋作の数値が少なく見えるのは、未収穫(来年 2~3 月ごろまで続きます)の圃場があるためです。今年のキャベツは春作を多めに定植、夏作はデントコーン栽培のため少なめでした。



今年の作付について、キャベツ栽培リーダーの重森さんにお話を伺いました。

**【春作】** 年明け定植したキャベツは 5 月中旬頃から収穫開始。前年秋に定植の圃場の収穫は 2~3 月頃までのため、例年、収穫物のない時期がありました。しかし、今年は福山圃場がその間を埋めるように採り頃となり、続けて収穫することが出来ました（2021 年 10 月定植~2022 年 4 月収穫）。来年も同じように収穫できることを期待し、定植しています。また今年からキャベツの出荷準備を東城で行うようになったことから、春作では東城の宇山でも栽培しました。

**【夏作】** 例年、高野圃場、持丸圃場で栽培を行っていますが、連作障害からネコブ病がよく出るため、土づくりを優先し、デントコーンの作付を多くしました。季節に適した品種を育てることが重要ですが、夏に適した品種でネコブ抵抗品種がなく困っていました。今年育ててみて「あじたま」が良いことが分かったため、来年は栽培を増やす予定です。また、なるべくマルチを使用して雑草対策をし、毛無中電工などの新圃場は水はけを良くする対策も必要と感じています。

**【秋作】** 定植は全体的にもう少し早い時期にしたいです。川北町ではお盆前から、三次も 9 月に入る前からの定植がベスト。病虫害防除では、虫が大きく育つ前の 8 月頭からしっかり散布すると良かったと感じました。春作では結果の良かったドローン防除ですが、秋作ではハイドラノメイガやウワバなどに苦しめられたので、散布回数と時期を改めたいです。

**【全体】** トマト栽培の後の圃場は野良トマトがたくさん生えるため対策が必要。例年では獣害の出なかった場所でも、今年は被害が出たため、獣の鼻先にあたる高さで、また舗装から離すなど、“説明書に記載の推奨される方法で”電気柵を設置することが必要と考えています。来年は虫対策と圃場の特徴を考慮した畑づくり(1 条畝、2 条畝、高畝など)を行い、収量 UP を狙いたいです。

# サツマイモの収穫が大忙し！

サツマイモの旬が訪れ、三次、因島、高宮、福山の御領駅圃場の順で収穫を行いました。育てた品種は、ほくほくとした昔ながらの味の「べにあずま」、焼き芋に美味しい「べにはるか」と「シルクスイート」の3種類。収穫量は、11/20（高宮収穫中）時点で、べにあずま約 100 コンテナ、べにはるか約 500 コンテナ、シルクスイート約 700 コンテナと豊作。収穫後は、地元企業のヒバ食品さんが干し芋や冷凍焼き芋として加工し、販売します。1月に製造開始、4月販売開始予定です。ヒバ食品さんは高野町の「道の駅たかの」へも販売していますので、お近くを通った際にぜひお芋スイーツを手にとってください。そして、vegeta も独自に、事務所で「つぼ焼きの焼き芋」などを販売予定です！

収穫作業を行った西村さんによると、掘る深さとツル対策がコツ！「掘る深さが浅いと芋を切ってしまう、深いとトラクターに負荷がかかりすぎるため、コツは畝と地面の境目くらいを掘っていくこと」。また、ツルが引っかかると芋の皮を剥いてしまうため、気を付けながら運転すると良いとのことでした。雑草が多いと収穫が大変なため、来年は特に畝間の草刈りをしっかり行いたいです。

## 玉ねぎの定植が進んでいます！

今年の玉ねぎ定植は、川北地区で総面積 4ha ほど。富田上で、夏にデントコーンを作付けした圃場の後作として、また、富田中、久井田にも定植しています。品種は「もみじ」と「七宝早生」「O・K・黄」など。収穫は来年の 6 月頃から順に行う予定です。

定植作業を行う田邊さんによると、「日没時間も早くなっているため、なるべく早く、そして正確に、真つすぐ植えることを目標にしている」、また「機械が長持ちするように作業後は掃除をして、オイルなどの点検も行うよう気を付けている」とのことでした。



(サツマイモ収穫を行う西村さん)



(玉ねぎ定植を行う田邊さん)

## 5S 活動を意識しよう！

11月の社内研修で学んだ、5S活動の復習です。5つのSは以下の通り。

- 1、整理…不要なものは捨て、使うものは使用頻度ごとに決まった置き場を作ること。
- 2、整頓…整理された状態を保ち、探す時間や人の動きの無駄をなくすこと
- 3、清掃…ホコリ、野菜くずなど、汚れの発生源を断ち、綺麗にすること。
- 4、清潔…綺麗になった状態を保つこと。そのために汚させない、不要物を出さないルール作りを行うこと。
- 5、しつけ…自然にルールが守れるよう習慣化させること。

社内を綺麗に整理した状態を保つことで、安全確保や作業効率 UP、業績 UP を狙います。今後は宇山、川北、菅田の各拠点で順に 5S 活動を行い、物の配置や片づけ方のルールを決める予定です。各地区の 5S 担当者となった方が定期的にチェック。使ったものは指定された場所に戻しましょう。